

平成24年度第1回青森県立郷土館協議会について

青森県立郷土館協議会が開催されました。

○ **日時** 平成24年7月9日（月）午後1時30分～午後3時30分

○ **場所** 青森県立郷土館 小ホール

○ **次第**

- 1 館長挨拶
- 2 協議会委員・職員紹介
- 3 案件
 - (1) 平成23年度事業実施状況及び利用状況について
 - (2) 平成24年度事業計画について
 - (3) 青森県立郷土館の指定管理者制度の導入について
 - (4) その他

○ **委員からの主な意見**

- ・ 企画展を、もっと青森県に縁のある方とタイアップして行えないか。
（外部企業などの企画は、貸し館業務の一環として行っているのですが、内容の限定は難しい。郷土館が主催の企画展・特別展については、当然本県にゆかりのある方々を取り上げる。双方のバランスについては、今後検討していく。）
- ・ 県内の様々な研究をしている人たちに対して、郷土館としてアドバイスなどはできるのか。
（学芸課にはそれぞれの専門家がそろっているので、その専門性の範囲内で相談に乗ることができる。気になることがあれば、相談してほしい。）
- ・ M L A連携というキーワードがある。Museum, Library, Archives の3つを連携して文化や地域社会の発展に寄与するということであるが、郷土館において、M L A連携に対し、中長期的に企画あるいは計画しているものがあるか。
（昨年度は美術館と連携した展示を開催した。また地域に関しては、新聞に連載を開始してから、町内会や商工会から様々な情報提供の連絡が来るようになってきている。常に地域と協力することは心がけている。市町村の博物館・資料館との連携にも力を入れている。郷土館に収蔵されている膨大な数の資料を、他の館と連携することで活用していくこともひとつの形になるのではないかと考える。）

- ・ 館報の利用者推移を見ると、館外活動が多いように見受けられるが、青森県は広範囲に及ぶので郷土館と聞いてわからない人も多い。もっと積極的に情報発信して出張活動を行ってほしい。

- ・ 県南在住者及び学校にとって、郷土館は馴染みが薄い。もっと県南での事業を展開してほしい。

（県内の博物館・美術館等41館が加盟する青森県博物館等協議会において、会報を年2回発行し、全加盟館にて一般の方に配布している。また広報・広聴業務は今年度から指定管理者へ委託となったので、これまで利用し得なかった様々な媒体を活用して情報発信している。効果はこれから見えてくると考える。その他に、全県組織の校長会やPTA連合会などに足を運んでPR活動している。

学校については、管内すべての校長会を回りお願いをしている。また教員の初任者研修や5年次・10年次研修に参加し、PRしている。一度郷土館を利用した学校や、その学校の教員が転任すると転任先の学校で見学に来るようになるので、その流れを広げていきたい。

これから行う自然観察会は、今年は青森市と深浦町で開催だが、次年度は別の地区で行う予定であり、県内各地区を順番に回りたいと考えている。）

- ・ ホームページに関してだが、郷土館で検索すると県の一組織という体裁のもので、いわゆる「公式ホームページ」ではない印象を受ける。県と相談が必要かもしれないが、ホームページの構築を検討してほしい。

（現在の郷土館のホームページは公式ホームページの位置づけである。県の規定でCMSを使用することが定められており、独立したホームページの運営はできない。ただし、指定管理者TTHAグループからの広報が可能になっているので、これから検討していきたい。